

第 56 回 地域協議会（地域医療支援委員会）議事概要

【日 時】令和 2 年 11 月 16 日（月） 19：30～20：00

【場 所】WEB を利用したオンライン会議

【出席者】岐部 明廣（人吉市医師会会長）
山田 和彦（人吉市医師会副会長）
黒木 正裕（公的病院 総務）
犬童 裕成（球磨郡医師会理事）
近藤 浩之（球磨郡医師会副会長）
清水 雅英（人吉市歯科医師会理事）
山村 礼二（球磨郡歯科医師会理事）
河内 謙介（西諸医師会理事）
村田 圭介（人吉球磨薬剤師会会長）
劔 陽子（熊本県人吉保健所）
北島 清宏（人吉市健康福祉部次長）
原田 和紀（えびの市健康保険課課長）
宇都宮 安照（伊佐市総務課長）
木村 正美（人吉医療センター院長）
下川 恭弘（人吉医療センター副院長）
作元 功（人吉医療センター事務部部长）
西山 三智（人吉医療センター総務企画課課長）
久保田 智子（人吉医療センター総務企画課係長）
山田 一裕（人吉医療センター医療福祉連携室）
高橋 薫子（人吉医療センター医療福祉連携室）

【欠席者】水間 良裕（伊佐市医師会副会長）
末次 美代（学識経験者）
渡辺 朋子（人吉医療センター看護部部长）

（敬称略 出席 計 20 名）

【概 要】

一、開会（事務局）

二、院長挨拶

三、議長挨拶

四、議題（議長）

1. 登録医承認

新規登録が 6 名、削除が 9 名 登録医合計 244 名 →全会一致で承認

五、意見交換

テーマ① 人吉・球磨豪雨災害について

木村議員：当院の水害の状況については、病院設備学会に掲載したものを後日広報誌と一緒にお送りしたいと思います。また、人吉市豪雨災害についての資料をまとめたいと考えている。

剣議員：水害時の保健所における対応は、①調整本部会議②避難所での衛生環境管理・物資配布や管理③保健所や県、他県からの応援派遣保健師による市町村長支援の調整④災害廃棄物関連⑤被災ペット支援⑥地域支え合いセンターの活動支援などを行っている。

岐部議員：人吉市医師会は28医療機関が被災し、大変な被害であった。外山胃腸病院も190m浸水し、11月15日時点で95%改修が終了、11月23日に完了予定。

山田議員：人吉市の病院は10月いっぱいではほとんどすべての医療機関が再開。残念ながら1医療機関は閉院となってしまった。今回、医療チームは連携が良く、DMAT、JMAT、人吉医療センター、日赤など支援団体のチームワークが良かったと感じた。

清水議員：人吉市歯科医師会では、被災した患者さんの支援を行ってきた。熊本地震では口腔ケア支援を行っていたが、コロナ禍ということもあり、歯科相談会を10月末まで実施。今後は、仮設住宅へ入居している方などの口腔ケア支援を行っていく予定。

テーマ② 新型コロナウイルス感染症の対応について

剣議員：11月よりこれまでの体制が新しくなり、保健所で行っていた「帰国者・接触者外来」による業務を、医師会等による受診・案内センターへ移行。県では発熱患者専用ダイヤルを設置。また、診療・検査医療機関に指定された開業医等で新型コロナウイルスの検査が可能となっている。

今後保健所では、発生届を受け、陽性者の入院調整、積極的疫学調査、消毒の助言、様々な啓発活動などに従事していく予定。各医師会等においては、新型コロナウイルスに関する人権侵害、差別、偏見がいまだに著しく存在するため、地域住民への啓発活動をお願いしたい。

河内議員：8月に近隣地域で発生。4人が小林市立病院に入院。それ以降発生していない。現在、西諸医師会では発熱外来を整備中で20数件が手挙げしている。

宇都宮議員：伊佐市に近い地域では7月3日に1名発生したがその後は発生していない。

木村議員：県境地域では現在発生数は少ないことがうかがえます。

六、その他

木村議員：今後の状況に応じてWEB会議での開催も行っていくと考えられる。その際は開催時間などの聞き取りを行っていきたいと思います。

七、閉会